

事務事業名	地方自治体情報システム研究会参画事業 ■実施計画事業	所属部局	総合政策部	単位番号	2068				
		所属課室	行政システム課	課長名	保坂 邦博				
基本政策	■ 情報と連携の都市づくり	所属担当	情報システム担当	担当者名	塚原 賢				
政策 計 画 体 系	01 行財政改革の推進	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細目
	02 行政改革の推進		01	一般	02	01	09	02	01
事業期間	■ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)	事業区分	■ 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
	■ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		■ 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
事業の内容 の 概 要	■ 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業								
	■ 義務化されている協議会等の負担金								
		法令根拠							
		事業費の主な内訳 (22 年度)		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)		
		その他負担金		18					
		計		18					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	自治体情報システム研究会参加
22年度活動実績	自治体情報システム研究会参加
23年度活動予定	自治体情報システム研究会参加
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
担当職員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
IT技術の先進事例や動向等を参考に自治体システム構築・運用に関する知識を習得する	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
IT技術の知識習得による業務システムの構築・安定運用	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 研究会・セミナー	回	
イ		
ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 担当職員数	人	
イ		
ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 知識を習得した職員数	人	
イ		
ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 安定運用されているシステム数	業務	
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	18	18	18	18	18	
		事業費計 (A)	千円	18	18	18	18	18	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24	
		人件費計 (B)	千円	107	107	95	95	95	0
		(A) + (B)	千円	125	125	113	113	113	0
活動指標		ア 回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標		ア 人	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
成果指標		ア 人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
上位成果指標		ア 業務	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	本市と同じシステム事業者の基幹系業務システムを使用している自治体間における情報交換とシステム先進事例の知識習得を目的として開始された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	県内自治体における同一システムユーザが増え(10市町村)、情報交換の必要性が増した。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会)等からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	必要最小限の職員で参画している
H 22年度に実施した改革改善の内容	必要最小限の職員で参画している

事務事業名	地方自治体情報システム研究会参画事業	所属部	総合政策部	所属課	行政システム課
-------	--------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 担当職員の資質向上及び他市町村の状況や情報システムの最新動向を把握することは必要である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 市役所内部業務であり、他団体に委ねることは不可能である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 システム構築事業者の基幹業務系システム利用団体のみ参加可能であり、進め方を変えることは不可能である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 システム構築事業者の基幹業務系システム利用団体のみ参加可能であり、進め方を変えることは不可能である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない 【理由と具体案】 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 同一事業者のシステムを導入している他市町村との意見交換が行えなくなる、また、法制度改正にともなうシステム対応等の情報を事前に得る場が失われてしまう	<input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由・具体案】 事業費は負担金と旅費のみであるため、削減余地はない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由・具体案】 研修会及び各種セミナーへの参加事業であるため、人件費を削減することができない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 システム運用・構築のための知識習得が目的であり、本市全体の基幹業務系システムに結びついているため公平であるといえる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本市と同様の業務系システム製品を導入している地方自治体間で、IT技術の先進事例や動向に関するセミナー及び会員相互の意見交換等を行うために必要。
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)													
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準 低 下</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要	成 果 水 準 低 下	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成 果 水 準 低 下	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果													
	成果優先度評価結果													
	コスト削減優先度評価結果													